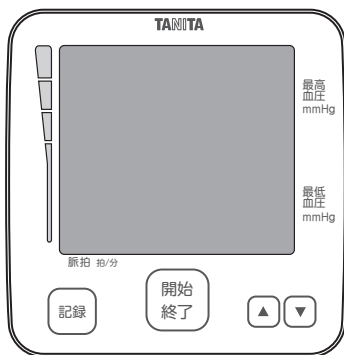


取扱説明書 保証書付

タニタ上腕式血圧計 BP-225シリーズ

BP-225/BP-226/BP-227/ BP-228L/BP-229L



本書に記載されているイラストはイメージです。

BP-228L/BP-229Lをスマートフォン
と連携するときはこちらから



もくじ

本器について

安全上の注意	1
血圧とは?	4
各部の名称/付属品	7

準備する

電池を入れる(交換する)	8
日付・時刻を設定する(変更する)	9
正しく装着する	10
正しい姿勢で測定する	11

使いかた

ユーザー番号を選択する	12
測定する	13
測定結果を見る	15
脈間隔変動マークが出た場合	16

必要なとき





記録された測定結果を見る	17
記録された結果を消去する	18
Q&A	19
故障かな?と思ったら	20
仕様	21
EMD技術情報	22

お願い

誤った使いかたをしますと、重大な事故につながるおそれがあります。本書をよくお読みいただき、正しく使用してください。また、本書は必要なときにすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。


安全上の注意

本書では、使用する人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本器を正しく使用してください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷 ^{※1} を負うおそれのある」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害 ^{※2} を負うおそれまたは物的損害 ^{※3} が発生するおそれのある」内容です。
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。
 必ず守る	「必ず守っていただく」内容です。

※1 重傷とは、失明やけが、やけど(高温、低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院、長期の通院を要するものをさします。
※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。※3 物的損害とは、家屋、家財などへの拡大損害をさします。

警告

 禁止	使用前および使用中に本器に異常が確認されたら使用しない 異常があるまま使用すると、けがや事故が発生するおそれがあります。
	測定結果の自己判断はしない 治療が必要な場合は医師の診察を受けてください。 薬剤の服用は医師の指示にしたがってください。
	腕部に重度の血行障害のある場合は、医師の指示なしで使用しない 循環障害に伴い、体調不良になるおそれがあります。
	抗凝固剤、抗血小板剤、ステロイドなどを使用している場合や、透析治療中の場合は、医師の指示なしで使用しない 内出血のおそれがあります。
	体の不自由な方は一人で測定しない 付き添いの方が介助してください。
	子どもや自ら意思表示ができない、または操作ができない方だけで使用させない けがや事故のおそれがありますので、医師に相談のうえ、使用してください。
	乳幼児の手の届くところに置かない、乳幼児に使用しない けがや事故のおそれがあります。
	本器や電池を加熱しない 本器の変形や電池の発火により、けがや火災のおそれがあります。
	純正のカフ以外を接続しない 事故や故障のおそれがあります。
	新しい電池と使用済み電池、種類の違う電池を同時に使用しない 電池を入れるときは、極性(⊕、⊖)を間違えない 長期間使用しない場合は、電池を入れたままにしない 電池の取り付け、交換はぬれた手で行わない ・液漏れや発熱、破裂により、けがのおそれがあります。 ・液漏れなどで、床などを汚損するおそれがあります。 ・電池の中の液が皮膚や衣服についた場合はきれいな水で洗い流してください。 目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師に相談してください。
	治療中やけがのある腕にカフを巻いて測定しない 血管内挿管、動静脈シャントをしている腕にカフを巻いて測定しない 乳腺切除した側の腕にカフを巻いて測定しない 症状が悪化するおそれがあります。
	可燃性、助燃性ガスの近くで使用しない 引火や発火による火災や爆発のおそれがあります。
	医療機器の近くや航空機内など、無線通信が禁止されたところで使用しない 医療機器や運航計器などの動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 警告



必ず守る

高血圧、脂質異常症、動脈硬化などが進んでいる方は、医師に相談のうえ、慎重に使用する手首と上腕で測定結果に大きな差がみられることがあります。

外圧に対して毛細血管の脆弱性が進んでいる方は、注意して使用する内出血、充血がみられる場合があります。

⚠ 注意

本体やカフを絶対に分解、改造、修理しない
本器の発火や誤動作により、けがや火災のおそれがあります。

血圧測定以外の目的には使用しない
故障や事故のおそれがあります。
本器は、健康管理のために、収縮期血圧および拡張期血圧を非観血的に測定することを使用目的としています。

装着部位の状態を確認し、異常が発見されたら測定しない
症状が悪化するおそれがあります。

カフは上腕以外に巻かない
けがや事故のおそれがあります。

チューブが折れ曲がったりねじれたりした状態で測定しない
カフが過度に加圧され、うっ血や内出血を起こすおそれがあります。

医療機関や公共の場など不特定多数の人を対象に使用しない
誤動作や故障のおそれがあります。

静電気や電磁波を発している場所（IH調理器や電子レンジ、通信機器などの近く）で使用しない
他の医療機器と併用しない
誤動作や故障のおそれがあります。

活性ガス（消毒用ガスも含む）環境や、ほこりっぽいところ、高温多湿環境下での測定や放置しない
内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障のおそれがあります。

本器を落としたり、強い衝撃を与えたりしない
故障のおそれがあります。

カフを無理に伸ばしたり、曲げたりしない
カフを鋭利な物で切ったり突いたりしない
故障のおそれがあります。

本体・カフを水洗いしない
故障のおそれがあります。

熱湯およびアルコール、ベンジン、シンナー、漂白剤などの薬品は使用しない
破損や変形、変色のおそれがあります。



禁止

安全上の注意(つづき)

⚠ 注 意



禁止

指定の電池以外は使用しない
充電式電池を使用しない

公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、誤動作や故障のおそれがあります。必ず指定の電池を使用してください。

本器に異物や液体が入らないようにする

入りこんだ場合は、そのままの状態で使用しないでください。
故障のおそれがあります。

測定する腕が汗などでぬれている場合は、必ずよく拭き取り、乾いてから使用する
ぬれたままだと内部に水が浸入し故障のおそれがあります。



必ず守る

寒い部屋で長時間保管していたときは、暖かいところに1時間以上放置してから
使用する

測定結果に誤差が生じるおそれがあります。

連続で測定する場合は10分以上間隔をあけて測定する

連続で測定すると、うっ血、内出血、腫れなどのおそれがあります。

連続で使用し、うっ血した場合は、うっ血を取り除いてから測定する

うっ血したままだと測定結果が変化することがあります。うっ血を取り除くには、カフ
をはずして手のひらを閉じたり開いたりする運動を少しの間繰り返してください。

カフプラグをカフプラグコネクターから抜くときはチューブではなくカフプラグを持つ
チューブを引っ張ると故障のおそれがあります。

お手入れについて

1. 水または中性洗剤に浸して固く絞ったやわらかい布で汚れを落としてください。
2. 乾いたやわらかい布できれいに水分を拭き取ってください。

※熱湯およびアルコール、ベンジン、シンナー、漂白剤などの薬品は使用しないで
ください。

血圧とは？

血圧とは、動脈の内側（動脈壁）にかかる圧力のこと

酸素や栄養など、わたしたちは生きていくのに必要な物質を血液から受け取っています。血液は心臓というポンプの拍動（収縮したり拡張したりすること）によって、動脈に送り出されます。血液が送り出された（心臓が収縮）瞬間に動脈の壁は押し広げられ、また、心臓が次の血液をためている（心臓が拡張）間には動脈の壁はもとに戻るといった動きを繰り返しています。

このように、血液で動脈が内側から押される圧力を「血圧」といいます。

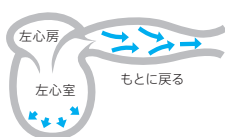
最高血圧、最低血圧とは？

最高血圧



心臓が収縮し、血液が送り出され動脈が最も押し広げられたときの圧力です。

最低血圧



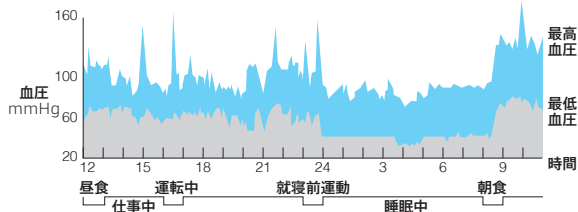
全身を巡った血液が心臓に戻り、心臓が拡張し、動脈がもとに戻ったときの圧力です。

血圧は常に変動しています

血圧は1心拍ごとに変化しています。それに加え、測定する環境や自分の状態（ストレス、病気、運動、姿勢、睡眠）などによっても変化します。

血圧の日内変動例

上腕血圧データ

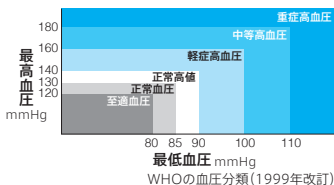


血圧とは？ (つづき)

知っておきたい血圧分類

高血圧の目安

世界保健機関 (WHO) と国際高血圧学会 (ISH) では、病院での血圧測定をもとにして右の図のように血圧を分類しています。また、家庭における高血圧の目安は下記の数値のようになります。血圧の状態を知る目安としてください。ただし、分類をもとに自己診断をすることは危険です。気になる点があれば必ず医師に相談しましょう。



参考:家庭における高血圧の目安

最高血圧 **135mmHg**以上

高血圧

最低血圧 **85mmHg**以上

出典:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」

血圧上昇の要因は生活習慣です

肥満や塩分のとりすぎ、食べすぎ、ストレスや喫煙などは、血圧が上がる要因になります。日ごろの生活習慣に目を向け、改善していくことが健康へとつながります。

■肥満

肥満になると、酸素消費量の増加に伴い、心拍出量、循環血液量の増加で血圧が上がります。食事に気をつけ適度な運動を習慣づけることが有効です。



■ストレス

ストレスによる睡眠不足や食生活の乱れは、血圧上昇につながります。スポーツや趣味などで上手にストレス解消を心がけることが大切です。

■喫煙

血管の収縮によって血圧が上がります。

■食事

- ・塩分のとりすぎに注意しましょう。麺類の汁は飲み干さず、残すように心がけましょう。
- ・動物性脂肪のとりすぎに注意し、栄養はバランス良くとりましょう。

正しい測定のポイント

血圧は1心拍ごとに変化しています。さらに測定する環境や自分の状態によっても変化します。家庭では、毎日なるべく同じ条件下で測定することが大切です。

いつも 同じ時間に

- 起床後1時間以内
- 就寝前
- 5分以上安静にしてから



起床後は

- 排尿を済ませてから
- 薬の服用前
- 食事の前

安静な状態で

深呼吸して、気持ちをリラックスさせましょう。



避けた方がよいとき

- 食後1時間以内
- 喫煙直後
- 飲酒直後
- 家事や運動直後
- コーヒー・紅茶を飲んだ直後
- 腹圧のかかる姿勢
- 入浴直後

静かな場所で

騒音や振動がなく、落ち着ける場所で

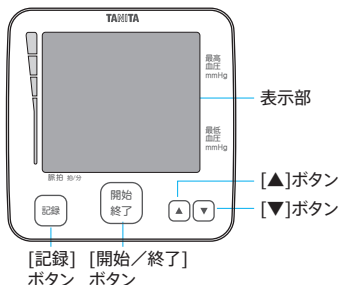


騒音や振動がある場所、寒い部屋では緊張感から、血圧が上がります。室温は20℃前後に保ってはかりましょう。

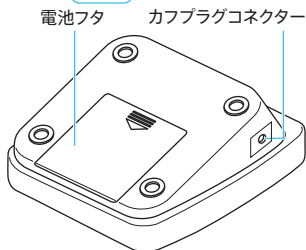
各部の名称／付属品

本体

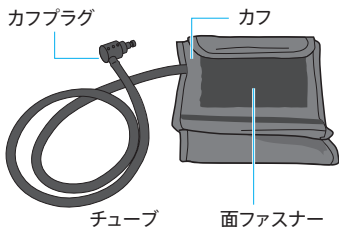
表面



裏面



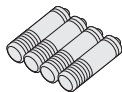
カフ



付属品

- 取扱説明書(本書)
※保証書、EMD技術情報付

- お試し用電池
単4形アルカリ乾電池×4本



- 添付文書

- ・付属のお試し用電池は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短い場合があります。
- ・不足しているものがありましたら、弊社お客様サービス相談室(☎ P.26)にお問い合わせください。

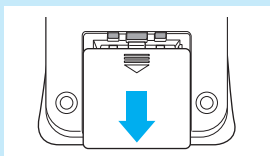
本器の廃棄について

お住まいの市区町村の定めにしたがって、電池を抜いてから廃棄してください。廃棄について不明な点がある場合は、お住まいの市区町村に相談してください。小型家電リサイクル法に基づき、お住まいの市区町村、または認定事業者による回収に協力をお願いします。

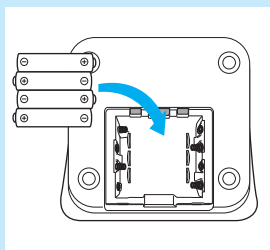
電池の廃棄について

お住まいの市区町村の定めにしたがって、廃棄してください。廃棄について不明な点がある場合は、お住まいの市区町村に相談してください。

電池を入れる(交換する)



1. 本体裏面の電池フタをはずす



2. 電池を入れる(交換する)

図のように極性(⊕、⊖)を正しく入れてください。

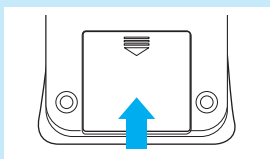
交換するときは、先に入っているすべての電池を取り出し、新しい電池を入れてください。

・指定の電池(単4形アルカリ乾電池)以外は使用しないでください。

・新しい電池と使用済み電池、種類の違う電池を同時に使用しないでください。


・電池を入れるときは、極性(⊕、⊖)を間違えないでください。

・電池を抜いてもすぐに日時はリセットされません。



3. 電池フタを閉める

日付・時刻の設定画面が表示されるので、設定してください。

( P.9 日付・時刻を設定する)

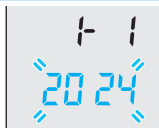
電池を交換したあとは、日付・時刻を再設定してください。

( P.9 日付・時刻を設定する)



日付・時刻を設定する(変更する)

例: 2024年10月14日 午前8時45分に
設定する場合



日時設定モード



[記録]ボタン (決定) [▲]ボタン (選択) [▼]ボタン (選択)

電池を入れたあと、西暦の数字が点滅します。
[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して数字を
選択し[記録]ボタンで決定します。

- ・[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを長押しすると、
数字が早送りされます。
- ・設定を中止するときは[開始/終了]ボタンを
押してください。
- ・設定した日付・時刻を変更したいときは、電源
が切れている状態で[▲]ボタンを約3秒長押し
してください。

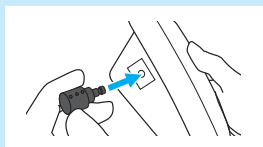


「西暦」と同様に、「月」「日」「時」「分」を設定し
ます。[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して
数字を選択し、[記録]ボタンで決定します。

「分」の設定が完了すると日付・時刻の設定
が完了して、自動的に電源が切れます。

正しく装着する

正しく測定するには、カフを正しく巻くことが大切です。

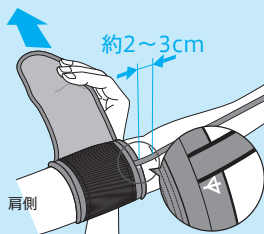


1 準備する

カフプラグを本体のカフプラグコネクタに、しっかりと差し込みます。

2 カフの位置を決める

▽がひじの内側中央になり、ひじ関節から2～3cm肩側になるようにカフの位置を決めます。

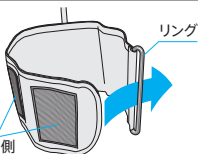
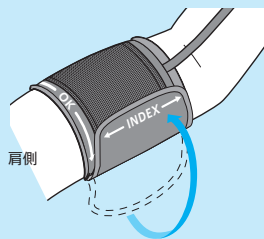


・測定可能な腕周は22～33cmです。

3 カフを巻きつける

カフの端を引っ張り、腕の下側から折り返して面ファスナーで固定します。

- ・カフと腕の間は指一本分程度の余裕を持たせてください。
- ・ひじでチューブをつぶさないようにしてください。
- ・カフを巻きつけた際に、「INDEX」マークが「← OK →」の範囲に入っていれば、測定可能な腕周です。範囲内であることを確認してください。
- ・測定する腕は左右どちらでも構いません。

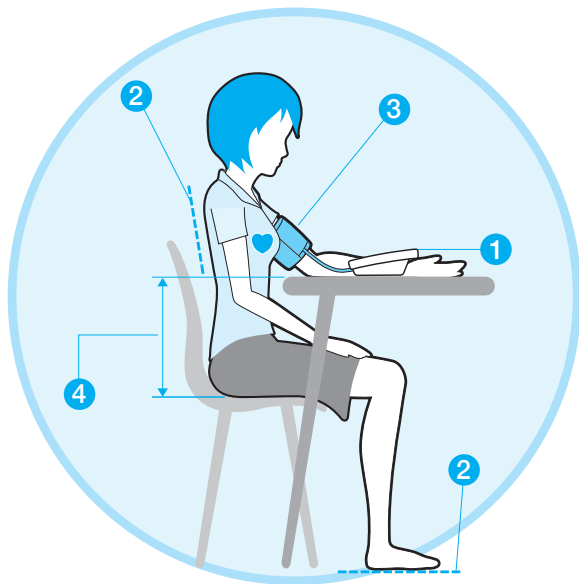


カフがリングからはずれた場合はカフの端をリングに通してください。

面ファスナー側

正しい姿勢で測定する

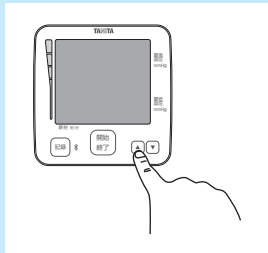
測定中は話をしたり、体を動かさないようにしてください。また、腕の力を抜いてリラックスしてください。



- ① 本体は、平らなテーブルに置きます。
- ② 背筋をかるく伸ばして座ります。
前かがみ、あぐらをかいた姿勢などでは腹圧がかかって測定結果が高くなることがあります。
脚は組まず、足の裏を床につけて座ってください。
- ③ カフは、素肌または薄手の肌着の上に巻きます。
- ④ セーターなど厚手の服は脱いでから測定してください。
テーブルの高さとイスの座面高さの差は25～30cm が理想です。
カフの位置が心臓より低くなると血圧が高くなることがあるので、ひじの下にクッションなどを置いて高さを調節してください。

ユーザー番号を選択する

ユーザー番号を選択することで、測定および測定結果の記録を、使用者ごとに区別して管理できます。

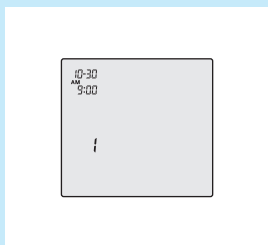


1. 電源が切れているときに[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押す

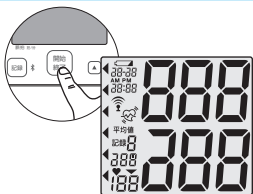
ユーザー番号が表示されるので、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンでユーザー番号を選択します。

ボタンを押さずに約3秒経つと、自動的に電源が切れます。

- ・ユーザー番号を選択したあと[開始/終了]ボタンを押すと、選択したユーザー番号で測定を開始します。(P.13)
- ・ユーザー番号を選択したあと[記録]ボタンを押すと、選択したユーザー番号の測定結果が表示されます。
- ・BP-228L/ BP-229Lでは[記録]ボタンを2回押してください。(P.17)



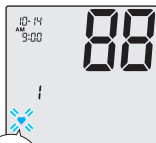
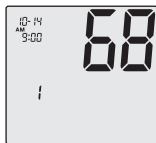
測定する



全点灯



前回測定値



脈拍検出

1. 正しい測定姿勢で[開始/終了]ボタンを押す

表示が全点灯します。

- ・はじめに、測定結果を記録したい方のユーザー番号を選択してください。(☞P.12)

前回の測定結果が表示されます。

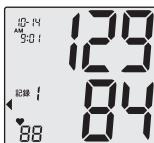
2. 測定を開始する

自動的に加圧が始まり、加圧しながら血圧が測定されます。

脈拍を検出すると「♥」マークが点滅します。

お願い


- ・正しい測定姿勢を維持してください。(☞P.11 正しい姿勢で測定する)
- ・カフの締め付けにより、腕に一過性の内出血が発生し、赤みが残るおそれがあります。異常を感じた場合は、[開始/終了]ボタンを押して、測定を中止してください。



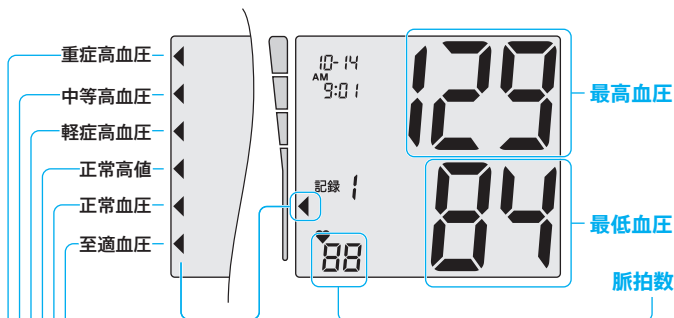
3. 測定結果が表示される

測定が終了したあと[開始/終了]ボタンを押すか、ボタンを押さずに約2分経つと自動的に電源が切れます。

・結果は自動的に記録され、あとで確認できます。

( P.17 記録された測定結果を見る)

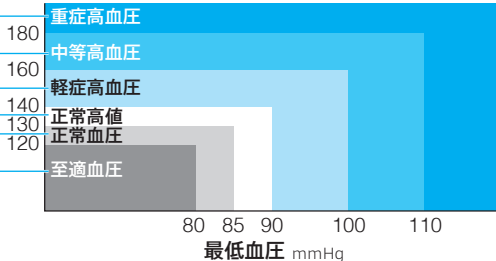
測定結果を見る



高血圧の目安

■世界の高血圧の目安

最高血圧 mmHg



WHOの血圧分類 (1999年改訂)

■参考:家庭における高血圧の目安

最高血圧 135mmHg以上

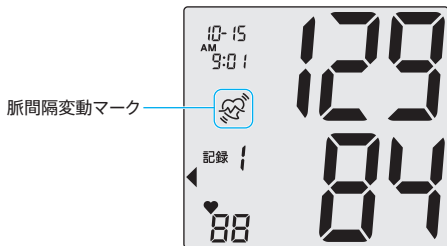
高血圧

最低血圧 85mmHg以上

出典:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」

脈間隔変動マークが出た場合

血圧測定中に脈間隔の変動を感知した場合、測定結果画面に脈間隔変動マークが表示されます。



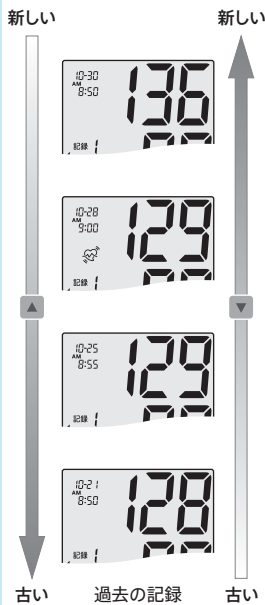
- ・このマークが表示された場合、血圧が正しく測定されていないおそれがあります。再測定してください。
- ・脈間隔変動マークが頻繁に表示される場合、医師に相談することをおすすめします。
- ・この機能は、不整脈を診断・判定するものではありませんが、不整脈の傾向である「脈の乱れ」の把握に有効です。

記録された測定結果を見る



1. 電源が切れているときに[記録]ボタンを押す
記録された測定結果のうち直近2回の平均値が表示されます。「平均値」が点灯し、記録番号は「00」が表示されます。

- ・はじめに、確認したい方のユーザー番号を選択してください。(P.12)
- ・BP-228L/BP-229Lでは[記録]ボタンを2回押してください。
- ・記録が無い場合、最高血圧と最低血圧に「0」が表示されます。



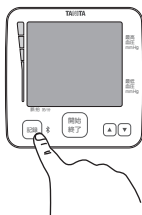
2. 記録された測定結果を見る

[▲]ボタンを押すと、最も新しい測定結果が表示され、ボタンを押すごとに過去の測定結果にさかのぼります。

[▼]ボタンを押すと、最も古い測定結果が表示され、ボタンを押すごとに新しい測定結果が表示されます。

- ・[開始/終了]ボタンを押すか、ボタンを押さずに約2分経つと自動的に電源が切れます。
- ・測定結果は100回まで記録されます。ユーザー番号1、ユーザー番号2ともに記録された測定結果が100回を超えると、古い測定結果から自動的に消去され、新しい測定結果が記録されます。

記録された結果を消去する



1. 電源が切れているときに[記録]ボタンを約3秒長押しする

- ・はじめに、記録を消去したい方のユーザー番号を選択してください。(P.12)



「[Lr]」が表示されるので[▼]ボタンまたは[▲]ボタンで「y」を選択して[記録]ボタンを押すと、記録された測定結果が消去されます。

- ・記録された測定結果を個別に選択して消去することはできません。
- ・消去された測定結果をもとに戻すことはできません。
- ・ユーザー番号1の測定結果を消去しても、ユーザー番号2の測定結果は消去されません。

病院で測定した結果と比べて低いのですが…

病院ではなかったとき、緊張していませんか？

自宅では気持ち落ち着いているため、病院などではかるよりも20～30mmHg低くなる場合があります。

血圧は1心拍ごとに変化しており、測定環境や自分の状態によっても値が変わってきます。自宅でのリラックスした際の測定結果を知っておくことが大切です。

病院で測定した結果と比べて高いのですが…

カフを正しく巻いていましたか？

- ・カフの位置は心臓と同じくらいの高さになっていましたか？
- ・上着や厚手の服の上から巻いていませんか？
- ・腕まくりをした袖が、腕を圧迫していませんか？
- ・カフをぴったりと巻いていましたか？

カフの位置がずれていると動脈からの信号を捕らえにくくなり、巻き方がゆるいとカフの圧迫している力が動脈まで伝わらず、いずれの場合も血圧が高めに測定されてしまいます。「正しく装着する」、「正しい姿勢で測定する」(P.10～P.11)を確認し、もう一度測定することをおすすめします。

猫背やあぐらをかいていたり、前のめりになっていたりしていませんか？

腹部が圧迫されたり(腹圧がかかる)、カフの位置が心臓よりも低くなると血圧が高めになることがあります。「正しく装着する」、「正しい姿勢で測定する」(P.10～P.11)を確認し、もう一度測定することをおすすめします。

測定するたびに測定結果が違うのですが…

毎日同じ時間帯、なるべく同じ条件で測定していますか？

血圧は1心拍ごとに変化しています。

それに加え、測定する環境や自分の状態(ストレス・病気・運動・姿勢・睡眠)などによっても変化します。自分の血圧を知るためには、毎日同じ時間帯、同じ条件下で測定することが大切です(P.6)。

いつも同じ腕ではかっていますか？

血圧は左腕と右腕で測定結果に差が出ることもあるため、いつも同じ腕で測定することが大切です。

連続して測定していませんか？

連続して測定すると、うっ血して測定結果が変化することがあります。続けて測定するときは、うっ血を取り除いてから測定することをおすすめします。

自宅での血圧管理のコツは？

血圧だけではなく、生活習慣やその日の体の状態なども記録することが大切です。







血圧は生活習慣と大きくかわりがあります。

血圧を毎日測定・記録すると同時に、生活習慣や体の状態を記録することで、自身の生活習慣がわかり改善へとつながります。また、医師の診断を受けるときにも役立ちます。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対処法
[開始/終了] ボタンを押しても何も表示されない	電池の極性(⊕・⊖)は合っていますか?	電池の極性(⊕・⊖)を確認し、入れ直してください(☞P.8)。
	電池が消耗していませんか?	すみやかに新しい電池と交換してください(☞P.8)。
測定中に表示が消える	電池が消耗していませんか?	すみやかに新しい電池と交換してください(☞P.8)。
	カフの装着位置は正しいですか?	カフを巻きなおし、再度測定してください(☞P.10)。
測定結果が高すぎる、あるいは低すぎる	測定中、安静にしていたか?	腕や体を動かさず、再度測定してください(☞P.11)。
	正しい姿勢で測定していましたか?	正しい姿勢で、再度測定してください(☞P.11)。
測定するたび結果が異なる	測定中、安静にしていたか?	5分ほどリラックスして、再度測定してください。

表示部に「Err」表示やその他の表示*があった場合

表示	原因	対処法
	脈拍が検知できない	上着などの厚手の服を脱いで、再度測定してください。
	加圧エラー	カフを巻きなおし、再度測定してください。
	測定結果エラー	5分ほどリラックスして、再度測定してください。
	減圧エラー	カフを巻きなおし、再度測定してください。
	システムエラー	電池を入れなおして再起動させてから、再度測定してください。繰り返し表示される場合には、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください(☞P.26)。
	電池残量の不足	すみやかに新しい電池と交換してください(☞P.8)。

*その他の表示になった場合、電池を入れなおしてください。

仕様

販売名	タニタ上腕式血圧計 BP-225 シリーズ
医療機器認証番号	305AFBZX00009000
測定方法	オシロメトリック法
カフ圧力範囲	0~300mmHg
測定範囲	最低血圧 40~200mmHg 最高血圧 60~255mmHg 脈拍 40~199拍/分
目量	圧力 1mmHg 脈拍 1拍/分
精度	圧力 ± 3 mmHg 脈拍 読み取り数値の $\pm 4\%$ 以内
電源	6V DC 単4形アルカリ乾電池(LR03)×4本
電池寿命	約300回
過去メモリー	2人分、100回の測定値を記録(最高・最低血圧値、脈拍数)
装着部分類	BF形装着部
電撃に対する保護	内部電源機器
使用温湿度範囲	10~40℃ 0~85%RH(結露なきこと)
保管温湿度範囲	-20~50℃ 0~85%RH(結露なきこと)
寸法	約幅112×高さ52×奥行116mm(カフ含まず)
質量	約225g(電池、カフ含まず)
通信方式*	Bluetooth® Low Energy technology

※BP-228L/BP-229Lのみの機能です。

・Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、株式会社タニタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

・本器には、電波法の規制より工事設計認証を取得した無線設備が内蔵されています。海外で使用すると罰せられることがあるため、日本国内で使用してください。



R 201-210603

本体マークの説明

	BF形装着部
	取扱説明書、添付文書をお読みください。
	製造番号

・デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

EMD技術情報

『お客様に安心して使用いただけるよう、本器はEMD規格に適合しています。
下記のEMD技術情報を考慮のうえ、使用してください。』

本器は、医用電気機器の安全使用のために要求されているEMD(電磁妨害)規格EN 60601-1-2:2021に適合しています。

EMD(電磁妨害)とは、電子機器の性能を低下させる可能性のある電磁現象であり、医用電気機器は次の二つの事項を満たす能力が要求されます。

- ・ 周辺の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。(エミッション)
- ・ 周辺の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。(イミュニティ)

EMD(電磁妨害)にかかわる技術的な説明

本器は医用電気機器のため、EMD(電磁妨害)に関して特別な注意を必要とし、次に記載する内容にしたがって使用する必要があります。

注意:

- ・ 本器はEMD(電磁妨害)に関して、特別な注意が必要であり、本書に記載された情報に基づいて使用してください。
- ・ 携帯形および移動形無線周波数(RF)通信機器により本器は影響を受けることがあります。
- ・ 本器は、他の機器に密着させたり、重ねたりした状態で使用しないでください。

ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁エミッション

本器は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。

本器の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

エミッション試験	適合性	電磁環境 — ガイダンス
電磁放射妨害 CISPR 11	グループ 1 クラスB	本器は、内部機能のためだけにRFエネルギーを用いている。したがって、その電磁放射妨害は、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は、少ない。
電源端子妨害電圧 CISPR 11	適用外	適用外
電源高調波 IEC 61000-3-2	適用外	
電圧変動およびフリッカ IEC 61000-3-3	適用外	

EMD技術情報(つづき)

ガイドンスおよび製造業者による宣言 — 電磁イミュニティ


本器は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。

本器の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	試験レベル	適合性レベル	電磁環境 — ガイドンス
静電気(ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±2 kV, ±4 kV, ±8 kV, ±15 kV 気中	±8 kV 接触 ±2 kV, ±4 kV, ±8 kV, ±15 kV 気中	床は木材、コンクリートまたはセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30%であることが望ましい。
電氣的ファスト トランジェント バースト IEC 61000-4-4	±2 kV 電源ライン 繰返し周波数: 100 kHz ±1 kV 入出力ライン 繰返し周波数: 100 kHz	適用外	適用外
サージ IEC 61000-4-5	±0.5 kV, ±1 kV ライン — ライン間 ±0.5 kV, ±1 kV, ±2 kV ライン — 接地間	適用外	適用外
電源周波数磁界 IEC 61000-4-8	50または60 Hz 30 A/m	50 Hz 30 A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を持つことが望ましい。
電圧ディップ および 短時間停電 IEC 61000-4-11	0% UT 0.5 周期 位相角 0°, 45°, 90°, 135°, 180°, 225°, 270°および 315° 0% UT 1 周期 および70% UT 25/30 周期 単相 位相角0° 0% UT 250/300 周期	適用外	適用外
注記 UT は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。			

ガイドンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

本器は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。
本器の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	試験レベル	適合性レベル	電磁環境 - ガイドンス
	3 V 150 kHz ~ 80 MHz 6 V 150 kHz ~ 80 MHz ISM及びアマチュア無線帯域 80 % 振幅変調 (1 kHz)	適用外	適用外
RF電磁界によって誘発する伝導妨害 IEC 61000-4-6 放射RF電磁界 IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80 % 振幅変調 (1 kHz)	10 V/m	携帯形および移動形RF通信機器は、本器のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。 推奨分離距離 $d=1.2\sqrt{P}$ 80 MHz ~ 800 MHz $d=2.3\sqrt{P}$ 800 MHz ~ 2.7 GHz ここで、Pは、送信機製造業者によるワット(W)で表した送信機の最大定格出力電力であり、dは、メートル(m)で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査(注)によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲における適合性レベルよりも低いことが望ましい。 次の記号を表示している機器の近傍では干渉が生じるかもしれない。 
	27 V/m 385 MHz パルス変調 18Hz	27 V/m	
	28 V/m 450 MHz 周波数変調 ±5 kHz 偏移 1 kHz 正弦波	28 V/m	
	9 V/m 710 MHz, 745 MHz, 780 MHz パルス変調 217 Hz	9 V/m	
	28 V/m 810 MHz, 870 MHz, 930 MHz パルス変調 18 Hz	28 V/m	
	28 V/m 1720 MHz, 1845 MHz, 1970 MHz, 2450 MHz パルス変調 217 Hz	28 V/m	
	9 V/m 5240 MHz, 5500 MHz, 5785 MHz パルス変調 217 Hz	9 V/m	

注記1 80 MHz および 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。

注記2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。

注 例えば、無線(携帯/コードレス)電話および陸上移動形無線の基地局、アマチュア無線、AM・FMラジオ放送およびTV放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測をすることはできない。固定RF送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。

本器を使用する場所において測定した電界強度が上記の適用するRF適合性レベルを超える場合は、本器が正常動作するかを検証するために監視することが望ましい。異常動作を確認した場合には、本器の、再配置または再設置のような追加対策が必要となるかもしれない。

EMD技術情報 (つづき)

携帯形および移動形RF通信機器と本器との間の推奨分離距離

本器は、電磁放射妨害が管理している電磁環境内での使用を意図している。本品の顧客または使用者は、送信機の最大出力に基づき、次に推奨している携帯形および移動形RF通信機器(送信機)と本器との間の最小距離を維持することで、電磁放射妨害を抑制するのに役立つ。

送信機の 最大定格出力 電力 W	送信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz 適用外	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.7 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	適用外	0.12	0.23
0.1	適用外	0.38	0.73
1	適用外	1.2	2.3
10	適用外	3.8	7.3
100	適用外	12	23

上記にリストしていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル(m)で表した推奨分離距離dは、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、Pは、送信機製造業者によるワット(W)で表した送信機の最大定格出力電力である。

注記1 80 MHzおよび800 MHzにおいては、分離距離は、高い周波数範囲を適用する。

注記2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。

ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

本器は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。

本器の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	試験レベル	変調	イミュニティ試験レベル (A/m)
近接磁界 IEC 61000-4-39	30 kHz ^{a)}	CW	8
	134.2 kHz	パルス変調 ^{b)} 2.1 kHz	65 ^{c)}
	13.56 kHz	パルス変調 ^{b)} 50 kHz	7.5 ^{c)}

注a) この試験は、在宅医療環境での使用を意図する本器にだけ適用される。

注b) 搬送波は、デューティ比50%の方形波で変調する。

注c) 無変調時の実効値

アフターサービスについて

本器の故障などについて、無料修理規程のもとで無料修理をお約束いたします。
修理を希望される場合は以下に示す内容をよくお読みいただき、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

1. 無料修理の保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年です。お買い上げ日は、販売店が保証書に記入した内容か、購入証明書（購入時のレシートなど）で証明いただけますので、いずれかを大切に保管してください。

2. 無料修理の保証範囲について

保証範囲は、無料修理規程に示されている条件を確認してください。

3. 修理の依頼について

保証期間中の依頼は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせのうえ、お買い上げ日が記入された保証書もしくは購入証明書（購入時のレシートなど）を本器に添えてお送りください。保証期間を過ぎてからの依頼は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。修理によって本器の機能が維持できる場合は、希望により有料修理させていただきます。

4. 不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

発売元 株式会社 **TANITA**

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

製造販売元 株式会社 **TANITA** 秋田

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス <https://www.tanita.co.jp/>

お問い合わせ先

フリー
ダイヤル



0120-133821

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビ
ダイヤル



0570-783551

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～17:00（祝日を除く月～金）

無料修理規程

- 取扱説明書などの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 贈答品などで購入証明ができない場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - イ、使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - ロ、お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
 - ハ、付属品、消耗品の故障および交換
 - ニ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - ホ、一般家庭以外で使用された場合の故障および損傷
 - ヘ、保証書などでお買い上げ日、お客様名、販売店名を証明できない場合、あるいは誤った情報が提示された場合
- 本規程は、日本国内においてのみ有効です。本器を日本国外で使用される場合、無料修理を含めたすべての対応の対象外となります。
- 本規程は、定められた期間や条件のもとで無料修理をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間が過ぎている場合の修理については、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

個人情報の取り扱い

- 修理対応にあたり、お客様の個人情報を提示いただく場合があります。
- お客様から提示いただいた個人情報は修理対応などに使用させていただき、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規程に基づき、責任をもって管理いたします。

TANITA 保証書

販売店様へ

販売時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)を記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ

販売店名とお買い上げ日の記入が無い場合は、無料修理をお約束できません。その場合は購入証明書(購入時のレシートなど)で代替して証明いただけますので、お客様の情報を記入いただいた保証書とあわせて提示してください。

品名	タニタ上腕式血圧計 BP-225 シリーズ BP-225/BP-226/BP-227/BP-228L/BP-229L		
保証期間	お買い上げ日より1年	お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前 様		
	ご住所		
	お電話 ()		
販売店	店名・所在地		
	電 話 () (印)		